

3Dカメラ・赤外光 Imaging システムによる 内視鏡（腹腔鏡）外科手術



外科部長
菅原 医師

内視鏡外科手術？

お腹に大きさ5mmから1cmの創（あな）を3～5か所あけてカメラ（腹腔鏡）と鉗子をお腹の中に挿入して、お腹の映像をモニターでみて手術を行う内視鏡外科手術がお腹の病気の標準的な手術になってきています。内視鏡外科手術は、手術自体の難易度は上がるものの手術に伴う傷が小さく、痛みも小さいため従来の手術に比べて患者様の回復が早いのが特徴です。社会復帰が早くなり美容的にも優れています。当院も積極的に内視鏡外科手術を取り入れて行っています。

3D内視鏡システム？

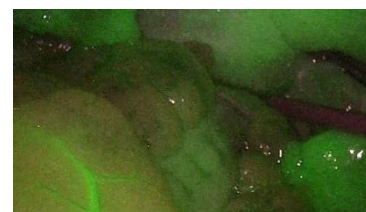
従来の内視鏡外科手術は、2Dシステムのため二次元モニターから三次元的な立体構造を予測して行っていました。3D内視鏡システムでは、三次元モニターから立体映像（奥行き情報）が提供されます。その情報は遊園地のアトラクションのように人の目の前に飛び出してくるようなものではなく、違和感のない形で、数mmの正確な奥行き情報をハイビジョン映像で与えるもので、正確な剥離層を決められるので、手術の安全性が向上しました。当院は3D内視鏡システムによる腹腔鏡手術をこれまで200例以上行っています。



3D内視鏡システム

IR(赤外光)Imaging システム？

赤外光を観察できるカメラを用いた内視鏡外科システムです。ボタン操作で通常光観察から赤外光観察へ切り替えられるシステムです。蛍光色素を静脈に注射（ICG 蛍光法）して腸の血流の評価に有効で、大腸癌手術に保険適用されています。吻合した腸管の血流を客観的に評価できるので縫合不全（吻合した腸管の漏れ）の防止に役に立っています。



ICG投与後のIR観察

☆新任スタッフご紹介☆



宮城 新吾（みやぎ しんご） 理学療法士

出身地：神奈川県 趣味特技：BBQ、野球観戦

紹介：明るく楽しく元気よく、患者さまの回復のお手伝いをさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



松田 千明（まつた ちあき） 理学療法士

出身地：秋田県 趣味特技：パン作り

紹介：皆様に安心と笑顔と健康と一緒に獲得できるよう努力いたします。よろしくお願ひいたします。



沼田 優子（ぬまた ゆうこ） 事務部

出身地：福島県 趣味特技：韓流ドラマ

紹介：患者さまが安心して病院をご利用できるよう、事務職として医療スタッフが働きやすい環境づくりに努めます。

私は昨年、緩和ケア認定看護師教育課程で緩和ケアについて学んできました。緩和ケアとは文字通り、病気や治療に伴うつらさを緩和させるケアのことです。では病気や治療に伴うつらさとはどのようなものがあるのでしょうか？それは、身体的なつらさだけではなく、病気や治療が及ぼす、精神面や社会面などすべてのつらさのことを指します。そして、このすべてのつらさに対応するのが緩和ケアです。患者さまやご家族はつらい症状を我慢してしまう傾向にあります。しかし、適切な緩和ケアを受けることにより、これらのつらさを軽減させることができます。例えば、患者さまの症状に合わせて、薬剤だけではない症状緩和方法の提案や、病気や治療に対する不安が軽減するように十分な情報提供を行い、それぞれの患者さんに合わせた解決策を一緒に考えていきたいと思えます。



患者さまとご家族のつらさが少しでも改善し、毎日がよりよい生活となりますように医師・薬剤師などと取り組んでいきます。どんなに些細なことでも構いませんので、気がかりなことがある方はご相談ください。

【緩和ケア認定看護師教育課程修了 阿部浩美】

認定看護師のご紹介

「認定看護師」とはどのような仕事をしているかご存じでしょうか？今回は認定看護師の取組の一部をご紹介します。

認定看護師とは。。。高度化し専門分化が進む医療の現場において、水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。「認定看護分野」ごとに日本看護協会が認定しています。

～日本看護協会 HP より～



当院では現在、「認知症看護」「感染管理」「摂食・嚥下障害看護」の分野で活躍している看護師がおり、下記のような活動を行っています。 ※現在は感染症対策のため院内デイケア等お休みしているものもあります※

【**認知症看護**】認知機能が低下している患者さまが入院した際に、安全で安心して過ごせる環境が提供できるよう、各病棟の看護師やご家族と相談しケアを検討しています。また、月に1回作業療法士と院内デイケアを開催しており、数名の患者さまと共に昔の歌を歌ったり作品を作ったりしています。院外では、「認知症サポーター養成講座」を開催し、地域の方にも認知症の正しい知識を知っていただけるよう活動しています。

【認知症看護認定看護師 和泉 香奈】

【**感染管理**】感染症や感染対策の現状・実践内容を把握し、週一回の病棟・外来巡視や、例えば携帯用手指消毒剤の利用向上、清掃用消毒物品の選択、感染予防の体験を取り入れた院内研修の開催などを行っています。感染制御は多職種連携のもと組織全体の取り組みや実践が重要となるため、ICDをはじめICT（感染対策チーム）と協働して感染対策を行っています。

【感染管理認定看護師 加藤 佳奈】

【**摂食・嚥下障害看護**】耳鼻いんこう科医師、言語聴覚士、管理栄養士と連携して、加齢や疾患等様々な理由から摂食・嚥下機能が低下した患者さまに対して、身体機能に適した食形態の調整、摂食方法の指導などを行っています。栄養管理に関してはNST（栄養サポートチーム）と連携し、退院後の生活も見据えたケアの提供を目指しています。また、多職種のスタッフに向けた院内研修を企画・開催しています。

【摂食・嚥下障害看護認定看護師 高橋 菜穂】

理念

高度で良質な医療と心のこもった患者サービスで地域社会に貢献し、調和のとれた企業立病院をめざします。

院是
調和